

残暑お見舞い申し上げます。

8月に入り、昨年度末から駆け抜けてきた期間のことを思います。7月末に行った前期の学校の取り組みに関する「在校生アンケート」では、新型コロナウイルスに対して「大変不安」と答えた生徒が48.4%、「不安」と答えた生徒が41.9%でした。不安を感じている生徒は9割を超え、この災禍が心に大きく影響していることが見受けられます。おそらく、生徒の皆さんの身体や生活にも影を落としていることでしょう。

前期は、生徒の皆さんが安心して学校生活を送れるよう、スケジュールやスクーリング方法を変えとともに、社会の一員として感染拡大防止への意識をもつことを生徒の皆さんにもお願いしてきました。スクーリングは教室の定員を半数にし、分散通学を行いました。このことにより落ち着いた雰囲気の中で学ぶことができ、「通学も学習も安心して出来た」との声もたくさん聴きました。しかし、その反面では対面指導を重視し「生徒一人ひとりと関わる学校」を目指している本校にとって、スクーリング回数を少なくしてメディア利用学習で補うことは苦渋の決断でした。生徒の皆さんには、初めての試みにもかかわらず、頑張ってくれたことを感謝しています。

後期に関しては、

- ① 新型コロナウイルスの感染がいまだに広がっていることから、引き続き感染拡大防止に取り組み、生徒の皆さんが安心して学校生活を送れることに注力します。
- ② スクーリング回数は生徒からの要望もあり、従来通りの回数に戻します。
定員は1クラス18人程度と少なくし、状況に応じて講座数を増やし対応します。
- ③ 新入生・転編入生には動画配信の入学礼拝を実施しましたが、10月1日にオンラインで4月～10月1日付の新入生・転編入生歓迎のつどいを行います（改めて詳細を連絡します）。

また、前期は一部のコースでオンライン授業を始めましたが、今後は、積極的にEdTech（教育に情報ツールを用いる手法）を授業（スクーリング）に取り入れて行きます。これからの時代を見据え、分かり易く興味をもてる授業を目指します。

コロナ禍の状況では、大声で笑い合えない・気軽に食事に行けない・大事な人に逢えないなど普段通りの生活ができないだけでなく、マスクをつけていない人への非難・エッセンシャルワーカー（医療関係者など）や感染者の多い地域への敬遠など人と人との関係が分断されがちです。こんな時だからこそ、人と人とのつながりを大事にしたい、大切にしたいと思っています。

神様がお与えになった試練と思うには、あまりに厳しいですが、この試練の中で私たちに何が出来るのか、やがて神様がお示しになる時に備えて、今何をすべきか、それぞれの立場で考えて行動していきたいと思っております。ご理解ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

「何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある」（コヘレトの言葉3章1節）